

令和2年度 事業報告

(公財)ふるさと島根定住財団

I. 事業実績の総括

当財団は、県内就職の促進、U I ターンの支援に取り組むため、平成4年に設立された。(平成23年4月に公益財団法人に移行)

以来、事業規模を拡大し、以下の三つの大きな柱を中心に、定住を促進する事業を展開している。

- 1 : 若年者の県内就職の促進
- 2 : 県外からのU I ターンの促進
- 3 : 活力と魅力ある地域づくりの促進

上記の取組みは、これまでも県の基本計画等に示されてきたところであるが、令和2年3月に策定(改訂)された、県の最上位の行政計画である「島根創生計画(令和2年3月策定)」及び「島根県雇用対策計画(令和2年3月策定)」、「島根県県民いきいき活動促進基本方針(令和2年3月第3次改訂)」の施策に位置付けられているところであり、県の主管部局(地域振興部、商工労働部、環境生活部)と常に連携を図りながら、事業の執行にあたった。

なお、上記の「島根創生計画」は、令和2年度から令和6年度の5年間を期間とし、財団関連では以下の成果指標において令和2年度の目標値が設定されている。

成果指標	R2年度 目標値
ふるさと島根定住財団の「産業体験事業」終了時定着率	75.2%
U I ターン希望者のための無料職業紹介による年間就職決定者数	318.0人
ふるさと定住・雇用情報コーナーの相談件数	788.0件
ふるさと回帰支援センターでの相談件数	600.0件
しまコトアカデミー受講者数	214.0人
移住支援東京拠点等での関係人口拡大セミナー累計受講者数	231.0人

これらに向けて、目標の達成状況を意識しながら事業の実施に努めた。

また、昨年来の新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度は、これまで財団が数多く実施してきた対面・集客型のイベント・事業が、中止やオンライン方式への転換、代替イベントへの変更など余儀なくされた。従前の地域や支援を必要とする方々に寄り添う財団ならではの取組とは違うことから戸惑いの中での実施であったが、対面式とオンライン方式を使い分け、あるいは組み合わせながら、効果的な事業の実施に努めた。

以下、3つの柱の主だった事業の実績、課題等について報告する。

1. 若年者の県内就職の促進

(1) キャリア相談事業

- キャリア相談事業はジョブカフェの主要なサービスの一つに位置付けられる。
- 個別キャリア相談数は、9つの段階に応じ就活力を向上させるプログラム「Step 9」の導入などにより平成29年度は約5,200人の過去最高を記録し、それ以降は4,500人程度で推移していたものの、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により3,149人と大幅に減少した。内訳としては、松江センター 1,885人（前年比▲1,385人）、浜田ブランチ 1,264人（前年比▲91人）で、このうち松江センターで1,013人、浜田ブランチで899人をオンラインで対応した。
- 県内就職の促進に向けては、大学等を通じてジョブカフェの早期利用の促進に向けた働きかけを行うとともに、学生向けのイベントの際にジョブカフェの紹介などを引き続き行った。
また、高校・大学等の要請に応じて実施する出張セミナーは、新型コロナウイルス感染症の影響等により、前年より減少し年間45件（前年比▲24件）を実施した。
- 新規学卒者及び既卒者に対しては、就活における様々な場面を想定したテーマ別の就職応援ミニセミナーを開催した。
- 島根大学と県立大学松江キャンパスにおける出張相談や県立大学でのセミナー実施など、大学と連携した相談対応等にも引き続き取り組んだ。

■ジョブカフェ来所者・相談実績

（単位：人（ ）：％）

区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
来所者(延べ人数)	9,822	7,981	7,556	7,407	8,364	8,475	7,642	7,253	4,934
松江センター	7,572	6,821	6,175	6,159	5,765	6,273	5,828	5,450	3,432
浜田ブランチ	2,250	1,160	1,381	1,248	2,599	2,202	1,814	1,803	1,502
個別キャリア相談	4,366	4,678	3,971	3,943	4,763	5,192	4,458	4,625	3,149
松江センター (うちWEB等)	2,854	4,059	3,340	3,400	3,113	3,758	3,223	3,270	1,885 (1,013)
浜田ブランチ (うちWEB等)	1,512	619	631	543	1,650	1,434	1,235	1,355	1,264 (899)
学 生	2,199 (50.4)	2,384 (51.0)	1,901 (47.9)	2,235 (56.7)	3,234 (67.9)	3,515 (67.7)	3,144 (70.5)	3,111 (67.3)	2,505 (79.5)
既 卒	2,167 (49.6)	2,294 (49.0)	2,070 (52.1)	1,708 (43.3)	1,529 (32.1)	1,677 (32.3)	1,314 (29.5)	1,514 (32.7)	644 (20.5)

(2) しまね学生登録制度の登録者拡大

- 平成9年度から開始したこの登録制度は、学卒者の就職支援の中でも重要な事業の一つと位置付けている。

○高校卒業時の登録に際し、高校の協力が不可欠なことから、平成23年度から現役高校教員の派遣受け入れや高校との連携強化を図るとともに、平成26年度には登録の仕組みを簡素化するなど登録者拡大に取り組んできた。

○登録者数は、そうした取り組みの効果もあって伸びており、平成29年度末には1万人を超えた。令和2年度末の有効登録者数は、県と連携して丁寧な学校訪問を重ねるなどの効果もあって12,056人と過去最高を記録した。

■しまね学生登録の登録状況

(単位：人)

区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
有効登録者	4,189	4,474	5,483	6,857	8,977	10,490	11,319	12,030	12,056
新規登録者	2,535	1,839	2,962	3,356	4,370	4,020	4,192	4,074	4,062

[高校卒業時登録率の推移] 70.4% 72.6% 78.3% 77.4% 83.3% 81.6%

<就活生向けの取り組み>

(3) 企業ガイダンス等の効果的实施

○令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ほぼすべての対面型のガイダンス等は中止せざるを得ない状況となった。学生、企業ともに、就職活動、採用活動への不安が増し、情報や対策を求める声が日ごとに大きくなってきたことから、島根での学生と企業の繋がりを断ち切らないようにするため、オンラインを活用した企画に切り替え、可能な限りの情報提供と出会いの機会の確保を図った。

○令和3年3月末卒業生に向けて実施予定であった県内ガイダンス、就職フェアしまね(秋季は対面)は、WEB代替企画として、イベント参加予定だった企業の最新採用情報をジョブカフェしまねのホームページ上で公開したり、YouTubeライブ(アーカイブ視聴可能)やZoomを利用した双方向イベントを実施した。

○新卒者の県内就職を促進するためには、低学年次から県内企業について知ってもらうことが重要であることから、県外学生が帰省する年末に、全学年の学生を対象として実施を予定していた「年末しまねジャンボ企業博」は、12月26日から28日に「年末しまねジャンボ企業博WEB LIVE!」として、オンラインに切り替えてYouTubeライブ(アーカイブ視聴可能)で開催した。

■WEB代替企画

代替前イベント	WEB代替企画		
県内ガイダンス (浜田:5月) (松江:6月)	しまね企業ガイダンス5月 (参加企業235社)	・特設ページでイベント参加予定企業の最新採用情報の一覧表示	
	しまねWEB合説LIVE! (5/18-24参加企業97社)	・企業説明をYouTubeライブにより生配信 ・アーカイブ視聴も可能	視聴回数 (3月1日現在) 22,498回
	2021卒しまね就活最前線 (参加企業163社)	・特設ページでイベント参加予定企業の最新採用情報の一覧表示	

代替前イベント	WEB 代替企画		
就職フェアしまね 8月	就職フェアしまね8月 代替策 Zoom 編企業 26 社 (学生延べ 50 人)	・Zoom を使い企業と学生が 双方向のやりとり	
	就職フェアしまね8月 代替策コンタクト編企業 17 社 (学生延べ 28 人)	・学生が連絡をとりたい企業 に学生の情報を提供	
年末しまねジャン ボ企業博	年末しまねジャンボ企業博 WEB LIVE! (12/26-28 参加企業 101 社)	・企業説明を YouTube ライ ブにより生配信 ・アーカイブ視聴も可能	視聴回数 (3月1日現在) 6,436 回
県内ガイダンス	しまね企業ガイダンスオンライ ン(3/1-3)	・Zoom を使用した企業説明 会(マッチング企業 176 社、 説明実施企業 170 社、申込 学生延べ 1592 人、参加学 生延べ 1425 人)	

■しまね企業ガイダンス(3月)オプション企画

	開催日	内容	場所	参加人数
しまね就活サポーター 相談企画	2/15(月) ～22(月)	しまね企業ガイダンスに向けて企業 選びに迷っている学生を対象として しまね就活サポーター等が申し込 み企業の選定をサポートする。	オンライン	学生 11 人
学生のドラフト就勝! ～ご縁オファー～	2/28(日)	企業採用担当者等が学生ブースを 訪問し、学生が企業に自己 PR を行 う逆求人型のイベント	オンライン	企業 19 社 学生 20 名

■県内就職フェア

イベント名		28 年度	29 年度	30 年度	R1 年度	R2 年度
就職フェアしまね(秋期) 会場:松江(松江テルサ) 主催:定住財団	開催日	10/29 (土)	10/14 (土)	10/15 (月)	10/23 (水)	10/10 (土)
	参加者数	46 人	53 人	52 人	54 人	49 人
	企業数	40 社	50 社	49 社	48 社	48 社

<低学年次学生向けの取組み>

(4) しまね学生インターンシップ

○大学、短期大学、高等専門学校及び専修学校の卒業前年次までの学生を対象とした、県内企業での「しまね学生インターンシップ」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業からの申込件数は 183 社（前年比▲102）、申込学生数は 291 人（前年比▲133 人）といずれも大幅に減少した。特に、夏期はマッチング企業数、参加学生数ともに大幅に減少したが、昨年後半からのイベント自粛緩和の動向等から、春期はマッチング企業数が前年並みの 52 社、参加学生数は 1.5 倍超の 152 人となった。

■ インターンシップ実績

(単位:人、社)

	H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R1年度		R2年度	
	学生数	企業数	学生数	企業数	学生数	企業数	学生数	企業数	学生数	企業数	学生数	企業数
夏期	266	99	325	111	326	122	330	111	347	99	116	42
春期	159	73	128	75	110	53	79	38	92	54	152	52
計	425	172	453	186	436	175	409	149	439	153	268	94

※企業数:マッチング企業数 学生数:参加者延べ数

○インターンシップ参加学生(大学生)の宿泊費等の助成は、夏期インターンシップの実績減に伴い27件(春期インターンシップを取りやめた前年度と同数)であった。

○しまね産学官人材育成コンソーシアムの部会の意見から、新たに令和4年3月末卒業生向けの1Day仕事体験(いわゆる1Dayインターンシップ)を実施する県内企業の情報をジョブカフェしまねのホームページにまとめて掲載し、学生に気軽に興味のある企業と接点を持つことのできる場を提供したところ企業111社と、学生延べ277人の参加があった。

(5) しまね企業交流セミナー「しまねタイム」等の実施

○県内でのインターンシップを体験することで県内就職を促すため、インターンシッププログラムの紹介・相談、県内企業による業界及び職種等を紹介したり、県内就職の魅力伝えるため、県内で活躍する企業人・社会人と学生が交流するセミナーを、オンラインで実施した。

開催日	内容	参加人数
11/21 (土)	しまねインターンシップコレクションとして開催 【参加企業】12社	24
12/12 (土)	しまねインターンシップコレクションとして開催 【参加企業】12社	36
2/6 (土)	しまね、とっとり合同企業セミナー&しまねタイム 【島根企業】13社、【鳥取企業】12社	20
2/27 (土)	しまねタイム ONLINE 【ゲスト】 ①太田滋氏/島根県農業協同組合 ②扇畑理恵氏/株式会社みしまや ③浜田雅志氏/マリエ・やしろ株式会社 ④柳樂翔太氏/出雲市役所	30

<定着支援のための取組み>

(6) しまね大作戦会議の実施

○企業等の組織でそれぞれのポジションにある社会人(経営者、中間管理職、新入社員)及び内定者がグループワークでの対話を通じ職場での円滑なコミュニケーションの実現、組織の在り方を考える会議をオンラインで開催した。

テーマ	開催日	内容	場所	参加数
しまね大作戦会議 ～自社の離職防止策と採用 戦略～	3/23(火)	講師:サイボウズ(株)青野誠氏による講演とグループワーク	オンライン @財団内	16社

(7) 山陰中央新報コラボ企画「先輩のホンネ」掲載

- コロナ禍での就職活動が制限される中で、学生の就職活動・企業の採用活動の両方を支援し、就活生の応援と県内企業の認知度の向上を図るため若手社員の「ホンネ」を山陰中央新報に掲載した。掲載した企業は222社であった。

2. 県外からのUIターンの促進

- 財団は設立当初から島根県のUIターン総合窓口として、県や市町村及び関係機関等と連携しながら、UIターンの促進に積極的に取り組んできた。
- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、集客型のイベントを中止し、財団のホームページ上に特設のイベントサイトを構築し、次年度以降の活用も見据えてオンラインイベント等を開催した。
- 夜間など相談者の都合の良い時間帯にも対応できるようWEB相談対応の機器の整備や、現場からの中継など柔軟な企画に対応できるようモバイルPC等の備品購入、松江事務局にオンライン専用スペースを整備するなど、今後も安定してオンラインに対応していくようハード面の整備を行った。

(1) 無料職業紹介事業

- コロナの影響を受け、春から夏頃にかけてWEB広告などは中止していたが、UIターンの求職登録者は増加傾向が続いている。なお、新規登録者数は昨年度比114%増となっており、特にIターン者の増加率が高まっている。
- 「くらしまねっと」の活用やきめ細かい求職登録者への対応及び企業体験支援事業等の効果もあり、コロナ禍の中にあっても、令和2年度の就職決定者は282人であり、前年度に比べ約1割減にとどまった。

■無料職業紹介事業の実績

区分/年度	27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	R1年度末	R2年度末
求職登録者	1,827人 男:1385 女:442	1,835人 男:1385 女:450	1,862人 男:1367 女:495	2,010人 男:1467 女:543	2,051人 男:1467 女:584	2,119人 男:1505 女:614
(新規登録者)	734人	612人	730人	725人	644人	736人
(Uターン者)	359人	261人	328人	293人	232人	231人
(Iターン者)	373人	351人	402人	432人	412人	505人
(Iの内関係有)	151人	129人	99人	109人	107人	106人
就職決定者	255人	262人	305人	312人	316人	282人

(2) U I ターンしまね産業体験事業

○平成8年度の制度創設以来、体験者の約5割が引き続き県内に定着するなど、効果の高い財団の老舗事業である。平成23年度には滞在費助成の引き上げ、平成25年度には対象産業に介護の追加、及びこれまで対象外であった実家にUターンし産業体験を行う者を助成金支給の対象とするなど、様々なニーズを取り入れながら事業を実施してきた。

○令和2年度の新規認定者数は、第1回目の緊急事態宣言が発出された5月、6月に落ち込んだものの、体験者、受入先、支援団体がそれぞれしっかりと感染対策に取り組み、移住先の地域にも丁寧な対応で理解を得るよう努めた結果、6月以降回復し、前年度より10人増の93人となった。

(内訳) 農業43人、畜産8人、林業11人、漁業22人、その他9人

○終了時定着率は、各年度の認定者全員が体験を終了した平成29年度までが確定した率となるが、平成27年度以降は80%を超える状況となっている。

■産業体験事業の実績[令和2年度末]

(単位：人、%)

認定年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	累計 H8～R2
認定者	60	81	83	90	90	88	83	93	2,103
体験終了者	60	81	83	90	90	87	77	14	2,017
終了時定着者	44	62	71	75	75	68	71	7	1,379
終了時定着率	73.3	76.5	85.5	83.3	83.3	(78.2)	(92.2)	(50.0)	68.4

※1 令和2年度からKPIが体験者数から終了時定着率に変更

※2 終了時定着率の()は、体験中の当該年度認定者がいるため暫定の率

(3) U I ターンに関する情報発信

○昨年度までの情報発信は、イベント告知に特化した内容を主に行っていたが、令和2年度からは、島根を移住先として選んでもらえるための情報発信に取り組んだ。

■情報発信の実績

コンテンツ	内容
しまね移住プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・しまね移住イメージ動画／「拝啓、一ヵ月前の私へ。」 ＜YouTube 93, 531回視聴＞(R3年5月時点) ・ボーカルが松江市出身の人気バンド Saucy-Dog にエンディング曲を提供してもらい、メンバーの SNS からの告知等の協力を得た。
島根に移住したくなる女子ブログ(note)	<ul style="list-style-type: none"> ・やりたいことがあって島根を選んだ女性、島根と東京を行き来している女性など、それぞれの視点から感じている島根の良さや、暮らしの様子を文章や写真等で発信した。 ＜記事数:19本、レビュー数:12,278、好き数(♡):814＞(R3年5月時点)

- 「島根で働く人の想い」や「職場の雰囲気」が感じとれるよう令和元年度に開設した『心で読む求人票』特設サイトページについて、令和2年度は、さらに掲載企業数を29社分追加し、働く現場のイメージ動画3本(転職編・子育て編・起業編)、働く女性による座談会2本(キャリアアップ・ワークライフバランス)などを掲載し、コンテンツの拡充を図った。
- コロナ禍で帰省できない若者と、その保護者に向け、お盆と正月に、山陰中央新報の協力の元、ラッピング広告を掲載した。保護者の「帰ってきて欲しい」と直接的に表現しにくい心情を紙面で表現しつつ、紙面を読んでから親子間等でのコミュニケーションが発生するような仕掛けを組み込んだ内容とした。

時期	企画内容
お盆	家族への想いを手紙風に掲載し、新聞紙を贈りもののラッピングとして活用してもらい、贈りものと一緒に届け、紙面を読んでもらう企画
正月	成人の日に“成人の方へのエール”として手紙風に掲載し、裏面には感謝状等をつけて、写真を撮って送りたいという企画

- 島根へのU I ターンを促進するとともに、地域内におけるU I ターン者受入意識の醸成を図ることを目的として、U I ターン希望者を対象に、協力事業者からの各種割引サービスや特典を提供する「しまねU・I ターン応援カード」を発行した。222事業所に協力いただき、517名にカードを発行した。

(4) U I ターンイベントの出展及び開催

<U I ターンイベント開催>

- 新型コロナウイルスの影響により、移住関心の度合いに関わらず広く移住情報を提供するため、東京、大阪、広島で開催していた「しまねUターンIターンフェア」の集客型イベントは中止し、財団のホームページ上において、新たに「しまね移住フェス」、「しまね移住ワンダーランド」をオンラインイベントとして開催した。

■しまね移住フェス・しまね移住ワンダーランド

R2 実績(オンライン)						
日付	内容	特設サイト 当日 UU 数	イベント サイト 当日 UU 数	入場 チケット 発行数	全体相談 対応組数	財団相談 対応組数
10/31(土)	しまね移住フェス	790 件	247 件	178 件	84 組	26 組
11/28(土)	しまね移住ワンダーランド	695 件	876 件	382 件	187 組	51 組

【しまね移住ワンダーランドの機能】

総合案内ゾーン／市町村ゾーン／しまね留学ゾーン／ワーク&ライフゾーン／KAMIARI ステージ(動画配信)／しまねちゃんねる(動画埋込)／しまねバーチャル体験／企業パビリオン／しまねご当地クイズツアー

○島根に関心がある方が気軽に参加できる夜の交流会等をオンラインで開催するなど、ターゲットに応じた参加しやすい機会を設け、求職登録への誘導等を図った。

■その他財団主催オンラインイベント

R2 実績(オンライン) 【参加者計372人】			
イベント	日付	内容	参加者数
WEBイベント	6/20(土)	しまね移住の先輩に聞く(林業)	3
	7/4(土)	しまね移住の先輩に聞く(農業)	3
	7/18(土)	しまね移住の先輩に聞く(農業)	3
しまねナイト	8/29(土)	しまね神楽ナイト	71
	9/30(水)	しまね地ビールナイト	21
	11/21(土)	しまね神在月オンライン参拝	202
	12/26(土)	ご縁を結ぶしめ縄づくり from しまね	30
	2/13(土)	Shimane Beauty Caravan スキンケア編	48

○ふるさと回帰フェアやJOIN移住交流フェア等、他団体が主催するイベントも、新型コロナウイルスの影響により対面型ではなくオンラインがほとんどであったが、財団としても積極的に出展し、情報提供や個別相談を実施した。

■主な出展イベント

開催月	名称	主催者	開催地	相談件数
6月	みんなの移住フェス	カヤック Living	オンライン	5件
5,10,2月	オンライン全国移住フェア	LOCONECT	オンライン	6件
10月	ふるさと回帰フェア	ふるさと回帰支援センター	オンライン	4件
3月	JOIN 移住交流フェア	移住交流推進機構	オンライン	2件
9,1,2月	IT エンジニア転職フェア	島根県	オンライン	9件
10月	イナコレ	大阪ふるさとセンター	大阪&オンライン	8件

(5) UIターン者のフォローアップ

○島根にUIターンした方々の交流の場として県内2か所で開催していた「定住塾」は、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度の開催は中止し、状況確認等の個別フォローに取り組んだ。

(6) 「しまね移住支援サテライト東京」の活動

○令和元年9月に、東京の実態に即した効果的な取り組みを促進するため活動拠点として、にほんばし島根館内に「しまね移住支援サテライト東京」を設置し、4名の職員を配置した。令和2年5月に、にほんばし島根館から日比谷しまね館への移転に伴い、従来の相談室よりも安心して、かつ落ち着いて対応できるよう専用の相談室を設け対応した。

○移住地域が明確でない移住検討層が多く訪れ、情報収集や相談を行う、ふるさと回帰支援センター（有楽町）に、島根県専用ブースを新規出展し、専任の相談員1名を

配置した。島根県の情報提供のほか、島根県に関心の高い相談者を、「しまね移住支援サテライト東京」の移住支援コーディネーターに繋ぎ、役割分担を図りながら効果的に対応した。

○新型コロナウイルスの影響のため、対面型のイベントの開催はできなかったが、オンラインに切り替えてセミナーを開催し、342人の参加があった。

■東京ふるさと定住・雇用情報コーナー 相談件数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30	21	18	46	26	14	34	30	25	22	33	22	17	308
R1	25	20	11	26	20	42	30	37	28	45	52	37	373
R2	16	10	58	72	68	69	55	60	36	37	34	32	547

※1 来所・電話・メール・イベント出展での相談件数

※2 R2年3月26日～5月28日まで対面相談を休止、12月29日～1月3日は相談休止

■ふるさと回帰支援センター 島根県移住相談窓口 相談件数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R2	1	1	16	26	17	27	8	24	6	9	4	14	153

※1 来所・電話・メール・イベント出展での相談件数

※2 R2年4月8日～6月1日まで対面相談を休止、8月10～17日は夏季休館、12月28日～1月4日は年末年始休館、R3年1月9日～3月7日まで交代勤務体制(島根県は日・水・金に出勤)

■東京拠点企画イベント(オンライン開催)

R2 実績(オンライン)【参加者計 342人】		
日付	イベント名	参加数
5/2(土)	わたしのライフキャリアを描く教室(試)	5
7/4(土)	暮らしを育てる『島根の日常』①	19
7/25(土)	自分のしごとの見つけ方①	16
8/22(土)	自分のしごとの見つけ方②	12
9/10(木)	暮らしを育てる『島根の日常』②	19
9/26(土)	自分のしごとの見つけ方③	11
10/18(日)	わたしのライフキャリアを描く教室①	10
10/31(土) ～11/1(日)	しまね縁結びワークショップ(専修大学生企画) ※2	50
11/14(土)	暮らしを育てる『島根の日常』③	22
11/15(日)	自分のしごとの見つけ方④	12
11/21(土)	わたしのライフキャリアを描く教室②	3
12/12(土)	わたしのライフキャリアを描く教室③	5
12/19(土)	島根をフィールドにしたデジタル・トランスフォーメーションの実現を考える	21
12/22(火)	「やってみたい」がかなうまち -島根県江津市から学ぶ“人”と“地域”の関係づくり-	38
1/9(土)	わたしのライフキャリアを描く教室④	11
2/6(土)	暮らしを育てる『島根の日常』④	22
2/23(火・祝)	島根をフィールドにした DX の実現を考える 勉強会	6
3/4(木)	いろいろあるけど何選ぶ? ～副/複業、なりわい、生きる場所…自分軸ではたらく・暮らすには～	60

※1 一部対応(外部主催)を含む

※2 オンライン開催ではなく、日比谷しまね館で開催

3. 活力と魅力ある地域づくりの推進

○若者の県内就職や県外からのU Iターンを促進するためにも、活力と魅力ある地域づくりの推進が不可欠であることから、課題解決や地域活性化に向けた団体自らが実施する継続的な活動を支援するため、助成事業を軸に地域づくり団体や実践者、NPO 法人等を対象にした研修、専門相談、情報発信などを実施した。

○地域活動応援サイト「フレフレしまね」を活用し、県内地域づくり団体の活動事例紹介や事業成果等の情報発信に努めた。

(1) 地域づくり人材育成支援事業

○地域づくりを行う人材や団体の活動に必要なノウハウやスキルを習得してもらうことで、事業が継続・発展していくことを目指し、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響に伴い重要なツールとなった、オンラインに関するセミナーを開催した。

■地域づくりセミナー 開催実績

タイトル	内容	開催日	開催場所	参加者
オンライン会議ツール お試し勉強会(第1回)	Zoom の操作方法を学ぶ	7/27	松江 浜田	10 団体 15 名
オンライン会議ツール お試し勉強会(第2回)	Zoom の操作方法を学ぶ	8/5	松江 浜田	8 団体 12 名
地域づくり×オンライン イベントの作り方	オンラインイベントの運営法 や注意点、事例紹介、イベン ト分野ごとの参加者ワーク	11/9	オンライン	22 団体 28 名
合計			3回	55名

○また、地域づくり活動を行っている団体や今後組織化をしようとする方々が一堂に会し、相互の連携を模索するためのきっかけづくり及び他団体から学ぶことによる自分磨きを目的とした「地域づくりオールスター祭」は、新型コロナウイルスの影響により令和元年度は中止したが、令和2年度はオンラインに切り替え、3日間の開催とし、延べ258名の参加があった。

(2) 地域づくり活動助成事業（地域づくり応援助成金）

○課題解決や地域活性化に向け団体自らが実施する継続的な活動を支援するため、団体の立ち上がり期や新規の活動に対して実施している助成について、令和2年度は、島根創生計画における「関係人口の拡大」に連動して、外部人材の参画を促進する取り組みが認められる活動に助成した。なお、当該事業は令和2年度で終了し、令和3年度からは、地域づくりの担い手として受け入れたい県内地域と関係人口とのマッチングを行う「関係案内所」の整備など、関係人口の拡大に向けた事業に組み替えて実施する。

■地域づくり応援助成金実績

(単位：件、千円)

		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
公益重視型	件数	5	11	3	5	5	—	—
	助成額	8,116	18,239	5,098	9,720	8,096	—	—
経済振興型	件数	5	2	6	1	5	—	—
	助成額	9,946	2,508	10,633	2,000	6,601	—	—
立上げ支援型	件数	—	—	14	19	10	—	—
	助成額	—	—	6,286	8,142	3,932	—	—
外部人材参画型	件数	—	—	—	—	—	—	6
	助成額	—	—	—	—	—	—	4,190
合計	件数	10	13	23	25	20	13	6
	助成額	18,062	20,747	22,017	19,862	18,629	14,831	4,190

(3) しまコトアカデミー

○島根県の地域づくりに関心を持つ方を対象に、島根県への関心層の拡大及び地域貢献を目指す方の育成、またそうした人の人材ネットワーク化を図るプログラム。

○これまで島根講座のみを実施していたが、令和2年度より県から東京・関西・広島各講座の実施の業務移管を受け、事業を引き継いだ。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、完全オンラインで実施した。

① 受講者募集オンライン説明会

7月4日(土) 13:30~16:00 参加者数：65名

7月12日(日) 10:30~12:00 参加者数：38名

② しまコトアカデミーDIGITAL(全7回講座)

[受講者数]

合計44名(東京講座11名、関西講座12名、広島講座10名、島根講座11名)

(※うち専修リーダーシッププログラムからの参加学生5名)

[メイン講師]

指出一正氏(「ソトコト」編集長)、田中輝美氏(ローカルジャーナリスト)

[メンター]

東京講座：三浦大紀氏(シマネプロモーション)

関西講座：小倉健太郎氏(宮内舎)

広島講座：田中輝美氏(ローカルジャーナリスト)

島根講座：竹内希氏(NPO法人てごねっと石見)

村岡詩織氏(コミュニティーマネージャー)

	開催日	テーマ
第1回	8/2(日)	私達が繋がり合う
第2回	8/22(土)	今を知る
第3回	9/5(土)	思いを知る
第4回	9/27(日)	多様さを知る(Special Day)
第5回	10/3(土)	振り返る
第6回	10/24(土)	まとめる
第7回	11/7(土)	最終発表

③ しまコト DIGITAL ナイト（ 12月1日(火) 17:00～21:00 ）

オープンイベントと共に、しまコト DIGITAL 受講生としまコト OBOG の交流会を企画。

〔メイン講師〕 指出一正氏 及び 各講座メンター

〔参加者〕 78名（うち、しまコト DIGITAL 含む修了生 44名）

(4) しまね田舎ツーリズムの推進

○田舎ツーリズムは県の事業として平成17年度からスタートし、財団は実践者の掘り起こしやネットワークづくり、具体的なアドバイスなど実践の場での支援を実施してきた。

○新型コロナウイルスの影響により、県外研修を取り止め、その代替としてオンラインイベント「しまね移住ワンダーランド」で、しまね田舎ツーリズム体験動画を配信して県外PRを行ったほか、実践者向けの研修会を全5回のうち4回をオンラインで開催し、85名（うち関係機関24名）の参加があった。

○加えて、リスクマネジメント研修を6回開催する計画であったが、新型コロナウイルスの影響で2回のみで開催となり、中止した4回の研修は、テキスト等を郵送し、実施した研修会の様子をYouTubeで限定公開し、自宅等で視聴できるようにした。

○また、住宅宿泊事業法や旅館業法の改正に伴う移行手続きのサポートを行った。

■しまね田舎ツーリズム参加団体等

（単位：団体・戸）

	H24 年度末	H25 年度末	H26 年度末	H27 年度末	H28 年度末	H29 年度末	H30 年度末	R1 年度末	R2 年度末
登録施設数	236	265	281	242	247	247	96	106	135

※R1年度分から登録制度を改め、集計方法を変更

■県内研修会

回	テーマ	開催日	開催場所	参加者
第1回	オンライン意見交換会	12/1	オンライン	12(内関係機関3)
第2回	オンライン研修会 ツーリズムと地域連携を考える	1/26	オンライン	20(内関係機関5)
第3回	新規開業説明会(浜田市ツーリズム協議会主催の共催)	2/20	浜田市	12(内関係機関4)
第4回	新規開業研修	3/9	オンライン	28(内関係機関6)
第5回	第2回オンライン意見交換会	3/17	オンライン	13(内関係機関6)

(5) 社会貢献活動促進事業

○令和3年3月末現在のNPO法人数は、近年認証数が頭打ちとなる中で、令和2年度に9法人が設立された一方で、5法人が解散した結果、291法人となった。（※前年度末比+4）

■県内NPO法人数の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
認証件数	9	13	7	5	17	8	9
解散件数	6	9	4	7	11	8	5
法人総数	273	277	282	281	287	287	291

○NPO法人入門講座やNPO法人として必要な事務手続きについて学ぶ「事務局セミナー」等の実務者研修について、新型コロナウイルスの影響により例年より回数、参加人数をしばって実施した。

○経理、登記、労務、所管庁手続き等と多岐にわたるNPO法人に必要な事務手続きの理解度を問う「NPO法人事務力検定」を実施し、合格者は累計で86名となった。

■NPO実務者研修（組織運営や事業実施に必要な実務的なスキルの習得）

タイトル	開催日	開催場所	参加者
NPO法人入門講座	9/28(月)	松江市	20名
	9/30(水)	江津市	18名
NPO事務局セミナー (経理、登記、労務、所管庁手続き等)	1/29(金)	松江市	18名
		江津市	7名
事務力検定	1/29(金)	松江市	12名
		江津市	5名
合格者の集い			
R2実績計		東部	50名
		西部	30名
		6会場	80名
(R1 実績計)		東部	173名
		西部	81名
		11会場	254名

■NPO法人事務力検定経年実績

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	累計
受験者数	11名	9名	6名	16名	29名	27名	17名	115名
合格者数	7名	9名	4名	13名	24名	19名	10名	86名

○平成21年4月から、県内のボランティア活動等について、広く情報を発信する県民活動応援サイト「島根いきいき広場」を運営し、NPO活動に関する情報発信のサポートを行っている。

○休眠預金の活用に向け、資金配分団体として中国5県でコンソーシアムを組み島根県内の団体にも対応できるよう体制を整え、申請を希望する団体への支援を行った。

事業報告の附属明細書

本書の他に、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。